



あ ら ー む

第 21 号

発行 障害者支援施設

新 生 園

〒061-355

岩手県紫波郡矢巾町室岡

二二二二五

TEL 〇五 六七一六八三二

FAX 〇五 六七一八四八

感謝をこめて御挨拶



新生園施設長

小野寺 仁子

新生園が室岡の地に誕生し、地域の皆様方とゲートボールや花見等の交流会を重ね、皆様に見守っていただき今日を迎えております。障がいをもって育った人たちが怪我や事故、病気等で機能に障害を持った人たちが、働きながら、普通の生活をこの地で営む「新生園」を目指してきました。法令や制度の大きな改革の中で施設の在り方も変容してきましたが、幸福の追求という福祉の精神は引き継がれていくものと思っております。ひとえに皆様のおかげと深く感謝しております。

平成二十九年度の新生園の大きな取り組みは、利用者・家族・役

職員で取り組む障がい福祉サービ
ス評価の受審です。平成二十六
年度に受審し、今回は二回目の
受審となります。前回は初めての
ことであったため、評価項目や評
価基準、標準化等の理解に苦慮
した日々であったし、従来から利
用している手順書の見直しや不足
しているもの等の職員の取り組み
は当然のごとく、利用者の自治
会や家族会の活動に至るまで、
見直しや検討に奔走しました。今
回も同様ですが、やはり経験があ
ると無いとは大きな違いがありま
す。前回の受審後から業務改善
委員会を立ち上げ、職員全体で
いろいろな改善取り組みをしてお
り十二月の受審に備えたいと思っ
ております。



【施設を出て、街で遊ぼう!! ~春の陣~】

2017年、岩手の長い冬が終わり桜や植物たちが芽でる季節の中、新生園の皆さんも各科ごとに施設外へ遊びに行きました。紫波町や盛岡市内への桜の名所、旨いものを楽しんでご満悦。とても心地の良い時間を過ごせたようです。

🐟🐟🐟 「生活介護御一行様 城山公園、高松の池へ行く!!」 🐟🐟🐟

満開の桜並木を横目に、花より団子の方が数名いたとかいないとか…。美味しいものを食べて気分もお腹も満腹でした。



🐟🐟🐟 「洗濯科御一行様 もりおか歴史文化館へ行く!!」 🐟🐟🐟

盛岡の歴史を改めて知ることができました。歴史より、寿司はもっと良かったです。



🌸🌸🌸🌸🌸 「印刷科御一行様 岩手公園へ行く!!」 🌸🌸🌸🌸🌸

岩手公園内の屋台で美味しいものを食べました。外ごはんは、とても気持ち良かったです。



新生園の珍客

年度末に所縁あるカメさんの消息を耳にし、その無事に安堵しました。

北上川で偶然に釣り上げられた全長20cmを越えるカメさんは、縁あって、新生園の相談室の片隅にプラスチック衣装箱をねぐらとしましたが、右目は白濁し、釣り針を飲み込んでいるらしいとの引継ぎごおり、不機嫌に警戒心旺盛な唸り声をたてていました。利用者さんも「気の毒に、長生きしないな…」と嘆いていました。利用者さんたちがご飯をとりわけ差し入れたり、外出時にはカメさん用の煮干しや裂きイカなどが差し入れられ、過食気味なほど懸命なお世話が始まりました。穏やかに安全で安心なカメさんの生活が続き、ますます成長したカメさんは、右目の白濁も完治し、釣り針も排泄したらしく、時には大きいびきで安眠し、来客にはグカグカと威嚇したり元気いっぱいになりました。



水交換や甲羅掃除にギブアップしたのは職員の方でした。

そこにカメさんをお世話したいという地域の篤志家が登場し、カメさんの地域移行が完了しました。去ってなお、気がかりになっていたカメさんの現状を伺い知ることができ、カメさんの将来が穏やかなものであってほしいと願っております。

コラム

みちのく療育園の伊東宗行施設長が話していた「医療は、人の命を救うかもしれないが、真の意味で人を幸福にするのは、福祉である」という言葉に、医師であり福祉に携わる伊東施設長の篤い思いに感動しました。

水分補給について

私たちは普段、水分補給に手軽なコーヒーやジュース類等、嗜好品に偏りがちです。

また、自分は一日にどれだけの水分を摂取しているか意識しながら飲むことはあまりないと思います

夏場の水分補給には缶コーヒーやジュース類・冷茶類だけでなく、スポーツドリンクやポカリスエット、アクエリクスなどの電解質成分の入ったものを飲むと良いでしょう。そして、水分補給時には塩分も必要になるので、梅干しや塩アメなどを食べるのが望ましいといわれています。

ただし、高血圧症の人は塩分の摂りすぎに、糖尿病の人は甘い缶コーヒーやジュース類など、糖分の入ったものの摂りすぎに気をつけましょう。



福祉施設における防犯対策 —不審者侵入に備える—

六月二十二日(木)に、新生園にて「福祉施設における防犯対策」というテーマで不審者侵入を想定した防犯対策の講習会を行いました。
岩手県紫波警察署生活安全

課生活安全課長・岡市善寿氏と生活安全係長・赤坂研治氏を講師に招き、「紫波郡障がい者地域生活ネットワーク会議(つき一会)」に参加を呼びかけて開催されました。



当日は、つき一会から二十二事業所、三十二名、新生園の職員、利用者を入れて五十名近い参加者のなか、講師の岡市氏、赤坂氏から、不審者に腕や胸ぐらをつかまれたときの振りほどき方や、さすまた(刺叉)の使い方などの実技の熱演をいただき、参加者全員が真剣に講義を受けてい

ました。

岡市氏からは、夜間などは錠錠し「出入り口は目の届く一カ所にする」、侵入者に出るだけ「早く気づく」、一対一ではなく「数で対応する」、施設内に入ってきた場合にあらかじめ「誘導する部屋を決めておく」などの話があり、これらを参考に施設で対策をしていきたいと思う講習会でした。

最後に岡市氏から県内で「特殊詐欺(オレオレ詐欺等)」の被害が減らない状況の説明があり、「家族等に注意喚起して下さい」と強調していました。

職員紹介



4月1日付異動
沼田 真子

はじめまして。

四月から新生園で勤務しております。沼田真子と申します。

第二新生園から異動で参りました。勤務して三カ月が経ちま

したが、職員の皆さんには優しくご指導していただき、利用者の皆さんには、沢山話しかけていただいて、毎日とても楽しく過ごさせていただいております。



7月1日付採用
田山 知葉

不慣れな所が多いと思いますが、元気に笑顔で頑張りますので、どうぞ皆さんよろしく願います。

利用者の会

いままで、利用者間の親睦や地域社会との交流を目的に組織されてきた「新生園・自治会」は、名称を今年度から、「新生園・利用者の会」とする事になりました。名称にもあるとおり、利用者主体の実りある組織にしていきたいと思っております。(利用者の会代表

